

Ⅲ 坂出市教委、公立学校、香川大学、附属学園の4者による研修会

シンポジウム「附属は地域に何ができるか」

～附属型コミュニティスクールの可能性を坂出市立公立学校のコミュニティ・スクールから考える～

令和元年11月24日、坂出市教育委員会、坂出市立公立小中学校、香川大学、附属坂出学園の4者合同のシンポジウムが、それぞれの関係者約40名が集まり盛大に開かれた。

会は①「附属型コミュニティスクールの構想と進行状況」②「坂出市立府中小学校のコミュニティ・スクールの取組」の2つの発表から、テーマに迫るべく方法を拡散的に探っていった。

フロアからは、府中小学校の進学校である白峰中学校長を始め、坂出市内の公立校管理職、坂出市教育委員、坂出市在住の元教員、附属学園PTA会長ら様々な立場からのアイディアをいただいた。

シンポジストの感想の後、最後に坂出市教育委員会主任指導主事様と香川大学教育学部から「附属CSの可能性」について助言をいただいた。

1 シンポジウムの様子



①附属型CSの構想を発表する副校長



②坂出市立府中小学校のCSを発表する教頭



③活発なフロアからのアイディア



④活発なフロアからのアイディア



⑤坂出市教育委員会からの助言



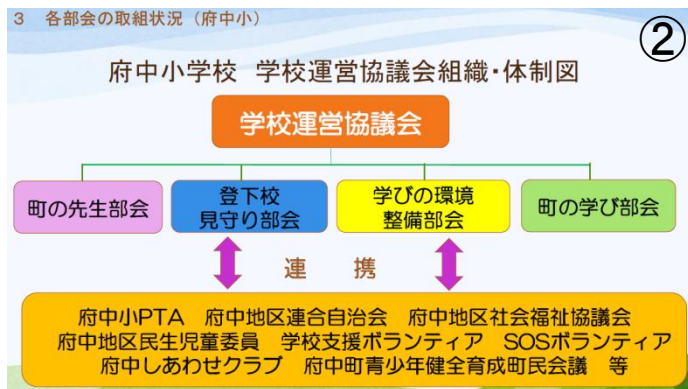
⑥香川大学教育学部からのお礼と講評

2 坂出市立府中小学校コミュニティ・スクールの発表プレゼン(一部)

①

松風会 坂出支部 シンポジウム
地域と共に子どもを育む
コミュニティ・スクールの導入
ー 校種や地域に応じたコミュニティ・スクールの在り方 ー

坂出市立府中小学校 東条 直樹



③

3 各部会の取組状況 (府中小)

町の先生部会

第6学年 校外学習 城山登山

ミニミニ水族館

④

3 各部会の取組状況 (府中小)

町の先生部会

川柳クラブ

夏休み 親子工作教室

⑤

3 各部会の取組状況 (府中小)

登下校見守り部会

通年の交通指導

あいさつ運動

⑥

3 各部会の取組状況 (府中小)

学びの環境整備部会

クリーン活動

奉仕作業

⑦

3 各部会の取組状況 (府中小)

町の学び部会

吉田さんの農園見学

埋蔵文化財センター

⑧

3 各部会の取組状況 (府中小)

町の学び部会

カヌー研修センター

史跡見学

その他(体験活動)

⑨



コスモスロード

【平成29年度まで】
8月中に種まき→
夏休みの水やりが負担感大

綾川橋の工事があるので、植える場所を縮小
するのは分かるが、町の人の楽しみでもあり、
なんとか継続してほしい。
(平成30年度第1回の意見)

【平成30年度から】
学校で種まきし苗作り→
9月に苗を植え、水やり開始

その他(体験活動)

⑩



水のフェスティバル

【平成30年度まで】
終日授業日→一番以外は学校で授業

もっと、子どもたちが保護者と一緒にステー
ジの催しを見たり、ハザーを利用したりして、
フェスティバルを楽しめるように
(平成30年度第1回の意見)

【令和元年度から】
午前中授業→
午後からはフェスティバルを堪能

3 坂出市教育委員会よりの助言プレゼン(一部)

2 坂出市の取組より...

①

■ 1 「附属型」について

大規模災害時の緊急対応・不審者対策等において

○ 子どもたちの安全を確保するために...

- ・ 近隣自治体等と連携した体制の整備・強化
- ・ 災害発生時の対応について共通理解
- ・ 合同訓練等の実施
- ・ 学園近辺の危険箇所の点検・見守り

○ 学校種の特色に合わせた取組の工夫

○ 情報の発信

■ 2 導入に向けて

②

- ① 「附属型コミュニティスクール」の趣旨や仕組み、機能やメリット等について理解を図る⇒「附属型」の定義の共有
- ② 学園の子どもたちがどのような課題を抱えているのか、どのような子どもたちを育てたいのか、何を実現していくのか
- ③ 既存の仕組みを生かし、学園の実情に応じた組織づくりと教職員の役割分担や校内体制づくり
- ④ 目標を達成するために連携・協働によって取り組もうとする具体的な活動内容の決定、運営計画等

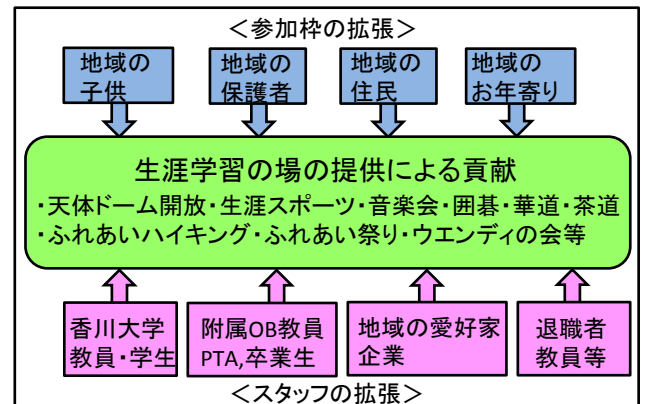
4校園での共有・熟議

4 参会者からの附属型コミュニティスクールへのアイデアとそれに基づく構想

① 多様で豊富な教育人材を活かしながら、更に人材を増やしていく(附属のプラットフォーム化)

<アイデア>

- ・ 大学や企業とコラボしてイベント企画。ふれあいコンサート、科学の祭典、未来からの留学生(坂出版)など
- ・ 附属CS関係の講師が講座を開く。ししまい。〇〇体験講座等。
- ・ 定年退職した人が教育人材として活躍することが生きがいになるようにする。(得意分野での生涯学習。医師、看護師、教員、カウンセラーなど様々な職種を持つ附属型のメリットを活かす)
- ・ 生涯スポーツサークル(現在ゴルフのみ)の他種目への拡張。
- ・ 地域の自治会から広げて、子供とかかわりのある商店、病院、塾などにも範囲を広げる。
- ・ 幼小中特、坂高、大学生から定年退職した人たちがシェアできる場に。
- ・ 附属型CSに経営コンサルタントを入れる。インスタ、ツイッター等を活用して広報、発信を。

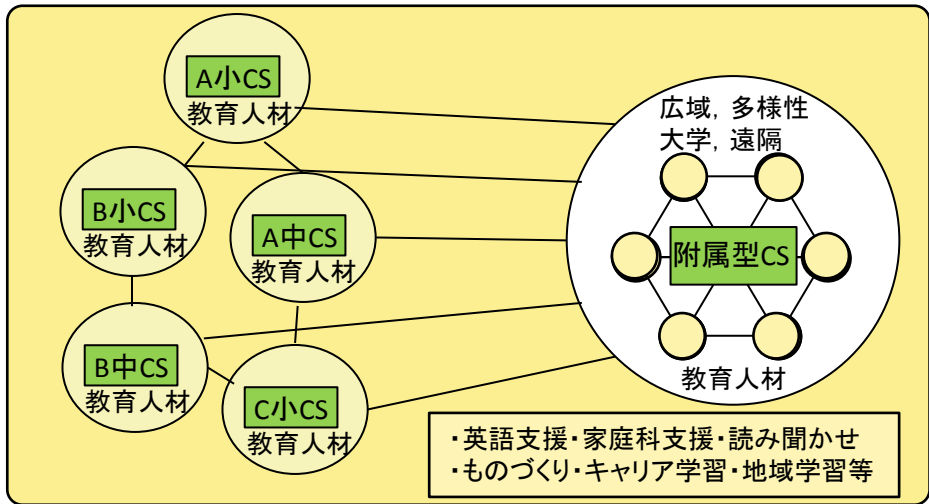


① 附属型コミュニティ(人とのつながり)を活用した生涯学習のプラットフォーム化の構想

② 坂出市立公立学校のコミュニティ・スクールとコラボし、やがては坂出市全体で教育人材を共有する

＜アイデア＞

- ・附属の教育人材（くもの巣型）と坂出市内の教育人材（地域型）がコラボしWIN-WINな人材活用ができるような仕組み作り。
- ・コミュニティスクールと地域学校協働活動本部をつくり推進員を構成する。

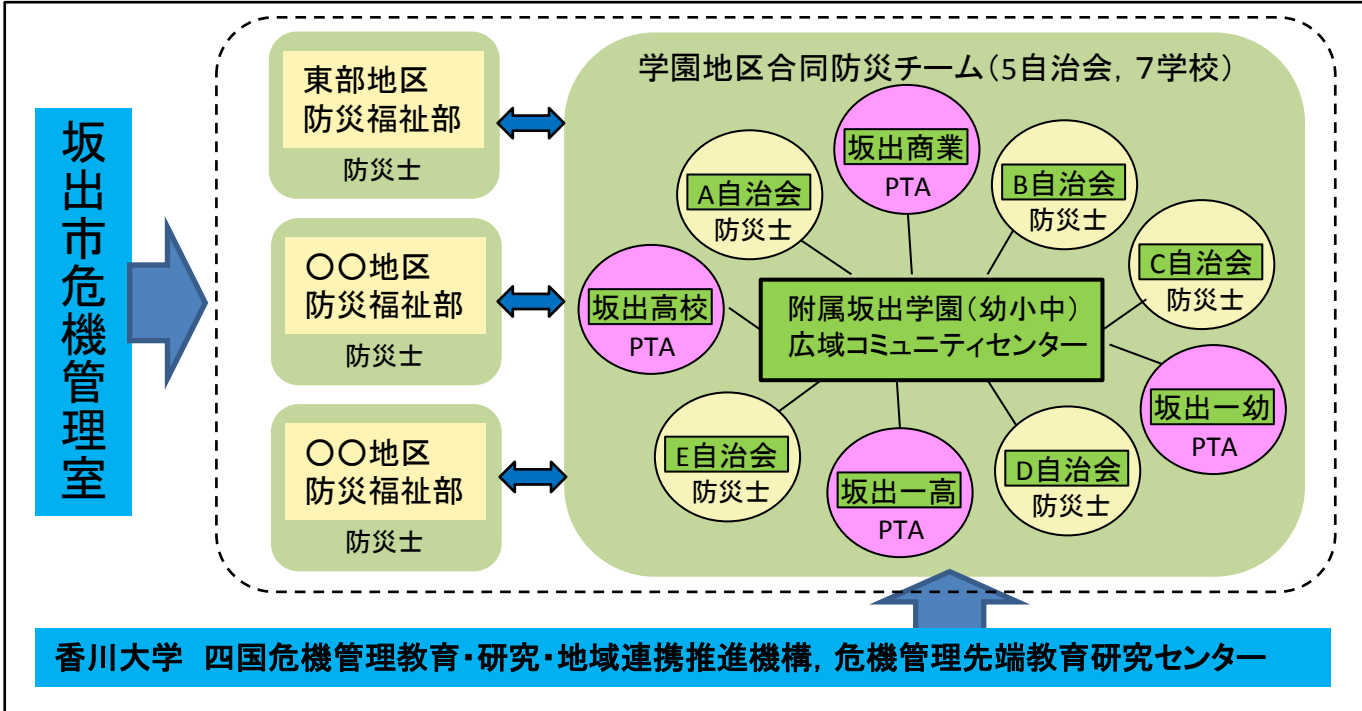


②坂出市とのコラボによりWIN-WINなBIG教育人材組織に発展（構想）

③ コミュニティセンター（分室跡地に予定）の活用について

＜アイデア＞

- ・コミュニティセンターを子育て支援センターとしても活用する。預かり体育、学習ルーム、老人ショートステイ等。土日には校舎や運動場を活用する。
- ・現在の附中キャリア学習やCAN学習を発展させて地域に開く。地域の方の作品展開催。
- ・学園地区の自治会や各校園の合同防災の拠点として活用する。津波の際には坂出市危機管理室の司令室に活用する。



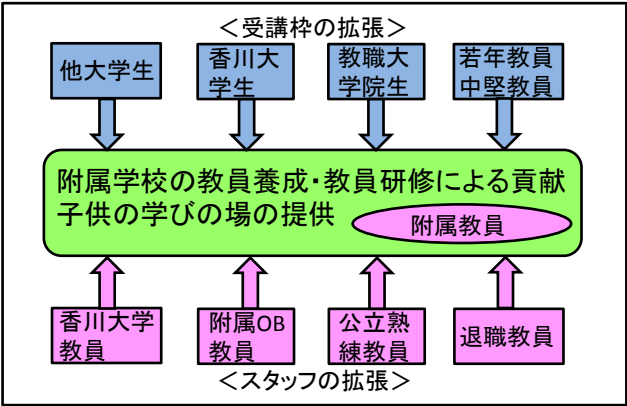
③学園地区合同防災の拠点としての地域貢献（構想）

④ 「教員養成・研修」や「子供の学び」における
附属のプラットフォーム化

＜アイデア＞

- ・附属の地域を「地域内の学校の子供」「地域内の学校の先生」と捉えて、大学や附属出身の教員、公立熟練教員、退職教員等、総がかりで香川の学力向上に貢献する（子供と若年教員の研修に貢献）。

例えば、子供対象では算数数学オリンピック等



④附属型コミュニティ(人とのつながり)を活用した
教員養成・研修のプラットフォーム化の構想

5 附属坂出学園PTA会長より

- ・保護者の立場から子どもたちや学園を支える活動を行ってきた。これからは地域の方とともに学び、成長できる、そしてやりがいを感じられる事業に取り組んでいく。そして持続可能な形で続けていき、地域の方と子どもたちや学園を支えていきたい。

6 香川大学教育学部より

- ・まずは、坂出市教育委員会、坂出市内の小中学校の先生方、市内にお住まいの元教員の皆様と一緒に、附属型コミュニティについて未来を考えられたことに深く感謝したい。附属型はソーシャルキャピタル（人とのつながり）を基盤としたコミュニティスクールなので本会のような強い絆で結ばれた組織が大切になる。現在、国立大学は、2040年を見越した改革が求められ、1月から文部科学省と学長との徹底対話が始まる。本日いただいたご意見を参考にしながら、令和2年度から正式にスタートさせ、実践、発信を繰り返していく。